

正々堂々

町田市立薬師中学校
第3学年 学年だより
令和8年5月15日
第7号

ついに来週から、体育祭練習期間スタート

いよいよ来週から、体育祭に向けた練習期間が始まります。中学校生活最後の体育祭。皆さんにとって、この2週間は単なる「行事の準備」ではありません。仲間とぶつかり合い、汗を流し、一つの目標に向かって心を燃やす「一生モノの思い出」を創る時間です。



今年の学年種目は「大ムカデ」。たった一人の足並みが乱れるだけで、全員が止まってしまう。まさに「究極のチームワーク」が試される競技です。最初は転んでばかりかもしれません。「もっと早く!」「息を合わせて!」と、焦りから厳しい言葉が出ることもあるでしょう。しかし、そこで腐らずに、どうやって声を掛け合い、立て直すか。転んだ仲間を責めるのではなく、その手を引いて立ち上がらせ、もう一度「せーの」で声を合わせる。その瞬間に、ただの「クラスメイト」が「チームメイト」に変わるのです。

また、学級対抗リレーでは、クラスの絆と情熱をバトンに託します。誰が速いかではなく、誰のために走るのか。バトンを渡す瞬間の指先の感覚、前を走る背中への信頼を感じる種目です。全校種目の大縄跳びでは、最高学年として後輩たちに「これぞ3年生」という圧倒的な跳躍を見せつける時です。1年生や2年生が仰ぎ見るような、力強い跳躍と、一糸乱れぬかけ声を期待しています。

練習が始まれば、毎日が体力との戦いです。帰宅後は足が棒のようになり、机に向かう気力が失われるかもしれません。しかし、その疲れこそが、皆さんが本気で練習に取り組んでいる証です。泥だらけになって笑い合い、全力でかけ声を叫び、一つのゴールを目指す。そんな時間が、皆さんのかけがえのない思い出となります。

先生たちは全力で皆さんをサポートします。しかし、主役はあくまで皆さんです。自分たちで練習メニューを考え、自分たちで弱点を分析し、自分たちで士気を高める。その「自治」の精神こそが、3年生に求められる姿です。2週間後、体育祭の閉会式を終えたとき、勝敗を超えた「何か」が、皆さんの心に刻まれることを願っています。最高の2週間にしましょう!

自主・自律の精神が光った生徒総会

今週の月曜日、6時間目に生徒総会が行われました。中学生生活最後の一年、そして学校の顔として、皆さんがどのような姿勢で臨むのか注目していましたが、その姿は期待を大きく上回る、大変立派なものでした。

今回の総会で特に印象に残ったのは、「自分たちの学校を自分たちで創る」という強い当事者意識です。各委員会の委員長たちは、今年度の活動方針や活動計画を、全校生徒の前で堂々と発表していました。発表を聞いていた生徒たちからも、学校生活をより良くするための鋭くも前向きな質問が相次ぎました。単なる形式上の行事ではなく、一つひとつの議案を真剣に検討しようとする熱量を感じました。また、議長団の円滑な進行や、準備にあたった生徒会の皆さんの影の努力が、この素晴らしい生徒総会を支えていました。

「決まったルールを守る」段階から一歩進んで、「より良いルールや環境を自分たちで模索する」。そんな最高学年らしい自主・自律の精神が随所に感じられる、素晴らしい生徒総会でした。この生徒総会で承認された活動方針を、ただの「言葉」に終わらせるのではなく、これからの日常の中にどう落とし込んでいくか。皆さんのこれからの行動に、さらに期待しています。

